

自己実現への道

第 101 回 － 第 8 章 「信念さえあれば必ず道は開ける」(その 5)

★ 幸福を呼び込む「他人を許す度量」を持て！

私はアイオワ州の農場で生まれ育った。種をまく季節と収穫の季節以外のときには、私たちは何をしていたらうか？ フェンスの修理が主な仕事だった。壊れたフェンスは隣人との善良な友好関係をぶち壊す原因になるからである。しがたって、思慮深い農民は、フェンスの修理は大切な仕事のひとつであると考えている。フェンスの修理を怠れば隣人関係は緊張し、場合によっては破壊されると彼らは考えていて、丹念なフェンスの修理は絶対に怠ってはならないと信じている。

少しくらいのことなら、大目にみて許してもらえるかも知れないが、大変なことになっては困るので、必死で繕い続けるわけであるが・・・聖書は次のような言葉を伝えている。

「主よ、兄弟が私に対して罪を犯した場合、私は何度まで許すべきでしょうか？ 7度まででしょうか？」 これに対してイエスは答えた。とにかく相手をまず許すことから始めよう。

「人を多く許す者は神から多くの恵みを受けるだろう」

他人を許せないほど度量の狭い人には幸運は巡って来ない。これも見えざる真理である。

★ 心の中のゴミ = ダメ意識を取り去れ！

「なぜあなたはそんなゴミをわざわざ拾うのかね？ どうせ、10 分もしないうちに、また誰かが何かを棄てるんだから・・・」しかし、多くの主婦たちは「家の中が汚れたら、私はすぐにきれいにします」という。人間は悪い環境が一層悪化するのには耐えられないものである。

壁の落書きをいつも消してくれる人がいる。彼は「毎晩、入浴するのと同じです」と笑顔だった。

そのためか、その界限はいつも清潔な街なのである。環境をいつも美しく！

そうだ、まず自分の心の環境の浄化から始めよう。消極思想のゴミ屑と、繰り返し襲い掛かる不安や心配事を一掃しよう。同じような落書きが何度も繰り返し登場するが、そのたびに根気よく消し去って、心の環境をきれいにしておきたいものである。

「毎日毎日多くのダメ意識が私たちの心の中に入って来る。

放置しておく、私たちはダメ意識によって沈没するだろう。

私たちは毎日、積極的な心を培うと同時に、心の中のゴミを取り去るよう努力するべきである。そうでないとダメ意識に負けてしまう」

〈MIKO〉

☞ 参考文献：Tough Minded Faith For Tender Hearted People by Robert H Schuller より